

# 神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第007号

令和3年5月21日(金)発行

本日から、5月も下旬となります。県総体(インターハイ予選)も始まっています。3年生にとって、高校生活の部活動を締めくくる大切な大会です。悔いの残らない試合をしましょう。さて、今回は、学年朝礼・坊津学園の高校施設見学の様子・教育実習生を写真等で紹介します。

5月10日 月曜日 学年朝礼

☆1年 永長先生より



「小・中学校と高校との違いは何でしょうか？」

について違いについて話したあと、

『一生懸命だと、知恵が出る。

中途半端だと、愚痴が出る。

いい加減だと、言い訳が出る。』

武田信玄の言葉をもとに「思い切りやってみる」ことの大切について語っていただきました。

- ・考え方次第ではとても面白い。
- ・自分達で楽しい環境をつくれればよい。
- ・面白い学校にすればよい。
- ・学校の魅力が増えれば、行事や部活動も盛り上がる。

いいアイデアがあったら、どんどん出そう。

☆2年 内菌先生より



自分を取り巻く新しい事柄(出来事)を

自分の今後の成長のきっかけに

内菌先生が英語の教師を目指したきっかけについて中学校での体験・出来事から話されました。

・新しい事柄(出来事)は様々な形でやって来るそれを自分自身の今後の成長につながるきっかけにしよう。

☆3年 寺田先生



鹿児島でもコロナの感染者数が増えてきました。鹿児島と東京を比べたときに、現在どちらが危機的状況にあるか？

(挙手 ほとんどが東京、数人が鹿児島に挙手)

5月9日の感染者数は、鹿児島が46人、東京が1032人。東京が鹿児島の約22倍。人口を比べると、鹿児島が約160万人、東京が約1400万人、人口は約8.8倍。人口比に比べ感染者数の比が大きいので、東京の方が危機的状況にあると言える。鹿児島に手を上げた人に「なぜ、鹿児島の方が危機的状況にあると考えたのですか？」と尋ねると「鹿児島の方が東京より医療設備が整っていないから」と答えました。すばらしい。「どちらが感染者数が多いですか？」との問いには、日常的にニュースで取り上げられる数字を比較すると分かりますが、「どちらが危機的状況にありますか？」の問いには、感染者数だけでなく、医療設備など、様々な要因を考慮して考えなければなりません。ちなみに、病院数は東京が651で全国1位、鹿児島は252で全国10位でした。人口10万人当たりだと、東京が4.8に対して鹿児島は15.4。意外と鹿児島は多いです。ある問いに対する答えを考えるとときには、1つの側面からだけ考えるのではなく、色々な視点から多面的に考える必要があります。

君たちが取り組んでいる教科の学習も、その教科だけで完結しているのではなく、今後君たちが直面する課題に対して様々な角度から考えるための大事な要素になっていることを頭に入れておいてください。

## 坊津学園来校!

5月14日に坊津学園9年生が高校施設見学で川辺高校に来ていただきました。進路選択に役立っていただけると幸いです。



まず最初は、保育の授業を体験しました。川辺高校は、普通科の学校ですが、3年次に選択教科の中に保育の授業があります。



次は、川辺高校という、伝統の「なぎなた」中間考査が終わったばかりの部員たちも駆けつけてなぎなたを体験しました。



最後は、楽しいランチ。坊津学園出身の2人の先輩とランチトークを楽しみました。

## 教育実習生紹介

今年度は、国語の富山真帆先生(熊本県立大学)と体育の丸野麗那先生(福岡大学)の2人が、5/17(月)~6/4(金)までの3週間、川辺高校で教育実習を行います。二人は在学中は生徒会やなぎなた部で活躍しておられました。

なお、二人の先生方は、今回の教育実習にあたり、二週間前から鹿児島に戻り、体調管理に努め、万全の体調で実習に臨んでおられます。



職員朝礼で挨拶

その後、全校朝礼で挨拶

☆国語の富山真帆先生



☆体育の丸野麗那先生

